

登呂博物館開館 50 周年記念
特別史跡指定 70 周年記念

つながるコメづくりへのこだわり

冬季企画展

コメ作りの 考古学と 民俗学

2022.12.3 (Sat) ▶ 2023.1.29 (Sun)

≡ 静岡市立登呂博物館

開館時間 | 9:00-16:30

休館日 | 月曜日、祝日の翌日、年末年始 (12/26 ~ 1/3)

※ 1/9 (月祝) は開館

観覧料 | 一般 300 円、高校・大学生 200 円、小中学生 50 円

〒422-8033 静岡市駿河区登呂五丁目 10 番 5 号

TEL 054-285-0476

<https://www.shizuoka-toromuseum.jp/>



コメ作りの考古学と民俗学

そのカタチには理由がある

弥生時代に始まった稲作の技術は、現代に至るまで発達し、当時の農具類にその技術を見ることが出来ます。近現代では、米の収量を増やし、作業を効率化させていくために多くの農機具が開発され、その一部は、民俗資料として収集・保存されてきました。

今回の展示では、静岡市内で利用されていた近現代の農具(民俗資料)を中心にコメ作りの作業の流れやその技術を紹介します。

水田を耕す

水田の土は、生産力を上げるために耕すことが必要であり、耕すために様々な農具が用いられました。

稲を育てる

イネを生育するためには、除草や水の管理など多くの作業があります。

米を食べる

コメが収穫され、食べられるまでには、乾燥や脱穀、もみすりなどいくつかの工程が必要です。

藁を利用する

収穫後に出る「藁(わら)」は、当時の生活のなかで様々な形で利用されていました。

写真：唐箕(とうみ)



関連事業

①しめ縄づくり体験

とき：令和4年12月24日(土)
場所：登呂博物館1F交流ホール
時間：①9:30～②10:15～
③11:00～④11:45～
(各40分程度)
人数：各12組計48組
料金：400円



②藁ぞうりづくり体験

とき：令和5年1月22日(日)
場所：登呂博物館1F交流ホール
時間：13:15～(3時間程度)
人数：15人
(小学生4年生以下保護者同伴)
料金：500円



①②各申込：12月7日(水)から
申込順
市コールセンター
(TEL 054-200-4894)
平日/8:00～20:00
土日祝/8:00～17:00

展示解説

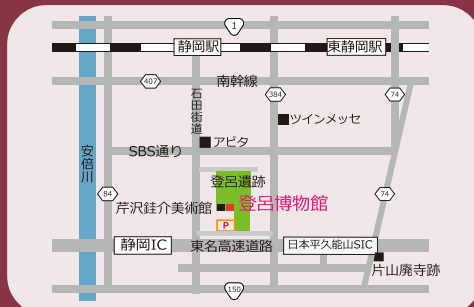
日時：令和4年12月11日(日)
令和5年1月8日(日)
各日11:00～、
14:00～
(各30分程度)
場所：登呂博物館2階
特別・企画展示室
料金：無料(要観覧料)

静岡市立登呂博物館



開館時間 9:00～16:30
休館日 月曜日、祝日の翌日、
年末年始(12/26～1/3)
※1/9(月祝)は開館
観覧料 一般300円、
高校・大学生200円、
小中学生50円

〒422-8033
静岡市駿河区登呂五丁目10番5号
TEL 054-285-0476
<https://www.shizuoka-toromuseum.jp>



《バス》 JR静岡駅南口22番乗り場から石田街道線「登呂遺跡」行き(10分)終点下車
《車》 東名静岡ICから約10分
東名日本平久能山スマートICから約10分
遺跡南側に有料駐車場50台有り
(普通車1台400円)

表面資料

1 カカシ 2 直柄又鍬(なほえまたくわ/登呂遺跡出土) 3 フリマンガ 4 犁(すき)
5 田下駄(登呂遺跡出土) 6 唐箕(とうみ) 7 マンノウ 8 大足(おおあし) 9 コロカシ ※すべて静岡市教育委員会蔵

